# ビジネス微分積分のひとくちメモ 『定積分によるπの計算』



## 皆様よくご存じのπ(円周率)も定積分で計算できます!

 $\pi = 3 \ 14159 \ 26535 \ 89793 \ 23846 \ 26433 \ 83279 \ 50288$ 

$$\int_0^1 \frac{1}{x^2+1} dx = \frac{\pi}{4}$$
 より $\pi = 4 \int_0^1 \frac{1}{x^2+1} dx$  で  $\pi$  が計算できます。

シンブソン公式による定積分の計算で、分割数を、10,50,100の3通りで計算してみました。 分割数を100にすれば小数点以下14桁まで正しく計算できます。

#### **\*CASF1:分割数=10**

	30 (
関数 f(x)=①	2.209944751
変数 ×=	0.9
下限 a=②	0
上限 b=③	1
分割数=④	10

=4\*(1/(C12^2+1))



Α:

積分結果=⑤ 3.14159265296979

H٠

PI()= 3.14159265358979

誤差(B-A=) 0.00000000062001 <==小数点10桁目でエラー

(C)石鍋信孝税理士事務所

#### \*CASE2:分割数=50

関数 f(x)=①2.040399918変数 x=0.98下限 a=②0上限 b=③1分割数=④50

A: 積分結果=⑤ 3.14159265358975

誤差(B-A=) 0.00000000000004 <==小数点14桁目でエラー

#### \*CASE3: 分割数=100

関数 f(x)=①2.020099995変数 x=0.99下限 a=②0.0上限 b=③1.0分割数=④100

A: 積分結果=⑤ 3.14159265358979

誤差(B-A=) 0.0000000000000 <== No Error



### 析数を大きく取ればさらに精度よく計算可能です!!

(C)石鍋信孝税理士事務所